

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 農業ビジネス支援課
 担当名: 販売対策・6次産業化担当
 内線: 4111

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B10	埼玉ブランド農産物推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	埼玉農産物ブランド化推進事業費		
事業期間	令和3年度～令和7年度	根拠法令	なし			針路分野施策	12 儲かる農林業の推進	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール SDGsターゲット	
1 事業概要	<p>県民の豊かな食生活を支え、生産者の経営安定と所得向上を実現するためには、埼玉ブランド農産物を創出し、安定した価格と需要の拡大を図りながら販売していく必要がある。</p> <p>そこで、県が育成した品種を中心にブランド力の強化を図るとともに、産地による県産農産物の販売促進に関する取り組みを支援し、実需者や消費者から広く認知されることで、県産農産物の需要を拡大する。</p> <p>ア 県産農産物販売戦略推進事業 △360千円 イ 県産農産物販売促進事業 △285千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県産農産物販売戦略推進事業 △360千円 埼玉県産農産物の総合的な販売対策を検討するとともに、ブランド化を戦略的に取り組む体制を整備する。</p> <p>イ 県産農産物販売促進事業 △285千円 県産農産物の認知度向上と消費拡大を図るために、関係機関等と連携し、農産物直売所や駅、量販店等におけるプロモーション活動の支援を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉農産物販売対策会議の開催 2回 イ いちごのイメージアップセールスの実施 1回 ウ SNS等を活用した情報発信 200回 エ 直売所や駅、量販店等での販促キャンペーンの実施 50回</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア いちご「あまりん」の認知度 令和7年度 50%以上 イ 彩玉の販売単価(等級7玉以上) 令和7年度までに 10%アップ ウ 埼玉農産物ポータルサイトの月平均アクセス数 令和元年度 6,775件/月(令和元年を除く過去5年間平均14,701件) → 令和7年度 20,000件 エ 埼玉農産物の認知度向上 令和元年度 31.1% → 令和7年度 44.6%</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>事務費節減による減額 △645千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500円×2.5人=23,750千円										
予算額		財源内訳							一般財源	補正後の 予算額
		諸収入								
決定額	△645	△360						△285	6,751	
現計額	7,396	630						6,766		

事業内訳書

事業名	埼玉ブランド農産物推進事業		
単位事業名	県産農産物販売戦略推進事業	予算額	△ 360千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△34	—	委員報酬辞退による報償費の減 △34千円
旅費	△78	—	委員との打合せの減 △78千円
需用費	△78	—	消耗品費の減 △78千円
役務費	△170	—	手数料の減額 △170千円
合計	△360	—	

単位事業名	県産農産物販売促進事業	予算額	△ 285千円
-------	-------------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△262	—	消耗品費及び燃料費、印刷製本費の減 △262千円
役務費	△23	—	通信運搬費の減 △23千円
合計	△285	—	